

イーストスプリング・
グローイング・アジア
株式オープン

追加型投信／海外／株式

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2021年6月22日～2021年12月20日

第29期 2021年12月20日決算

日経新聞掲載名：グローアジ

第29期末	基準価額	10,974円
	純資産総額	3,629百万円
第29期	騰落率	0.1%
	分配金合計	0円

(注)騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス ⇒ 「ファンド情報」を選択 ⇒ ファンド名を選択 ⇒ 「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2021年6月22日～2021年12月20日)



第29期首	10,959円
第29期末	10,974円 (既払分配金0円)
騰落率	0.1% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。

上昇要因

・アジア通貨が円に対して上昇したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2021年6月22日～2021年12月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	80円	0.729%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,906円です。
(投信会社)	(36)	(0.329)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(42)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	5	0.042	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.009)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(2)	(0.018)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	(2)	(0.015)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他1)	(0)	(0.000)	信託管理事務に係る手数料
合計	85	0.771	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

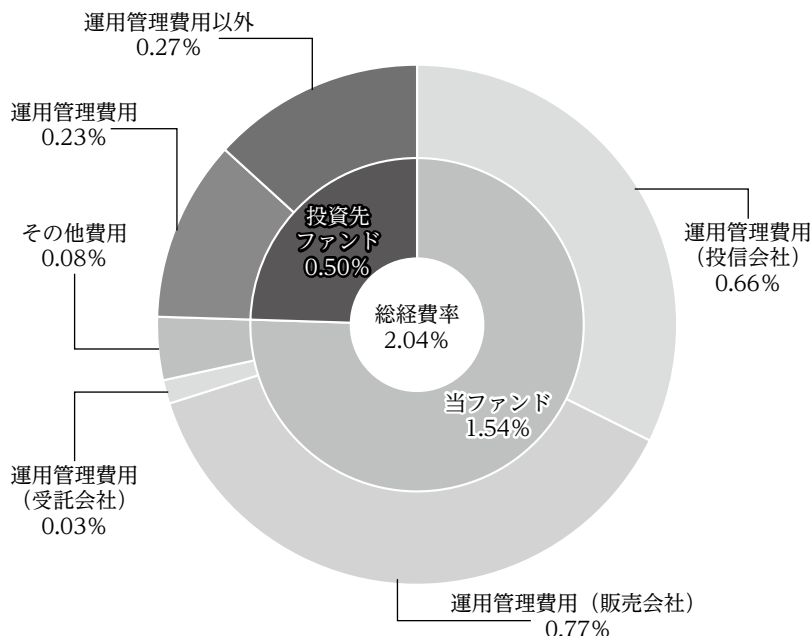
(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.04%です。



総経費率 (①+②+③)	2.04%
①当ファンドの費用の比率	1.54%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.23%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.27%

(注) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2016年12月20日～2021年12月20日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2016年12月20日の値が基準価額と同一になるように指数化しております。

決算日		2016/12/20	2017/12/20	2018/12/20	2019/12/20	2020/12/21	2021/12/20
基準価額	(円)	9,278	10,899	9,841	10,139	10,271	10,974
期間分配金合計（税引前）	(円)	—	600	0	0	100	200
分配金再投資基準価額の騰落率(%)		—	24.1	-9.7	3.0	2.3	8.8
純資産総額	(百万円)	5,820	5,820	5,042	4,681	4,130	3,629

*当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

アジア株式市場

当期のアジア株式市場は通期で小幅に下落しました。

期初から2021年8月中旬にかけて東南アジアでは新型コロナウイルスの新規感染者数の増加、中国では当局による民間セクターへの規制強化や不動産開発大手、中国恒大集団の債務問題等への懸念を受けて、アジアの株式市場は軟調な展開となりました。その後は、東南アジアやインドでワクチン接種が進展したことなどから経済活動の再開に対する期待感が高まり、底堅い展開が続きました。期末にかけては、南アフリカで最初に確認された新型コロナウイルスの変異株「オミクロン株」への懸念から総じて軟調に推移しました。

ポートフォリオについて

当ファンド

主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とするルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド（米ドル建て）（以下「投資先ファンド」ということがあります。）の投資信託証券に投資を行いました。国別の投資割合については基本比率の上下一定の範囲内で運用を行いました。

為替市場

当期は、アジア通貨が対円で上昇しました。

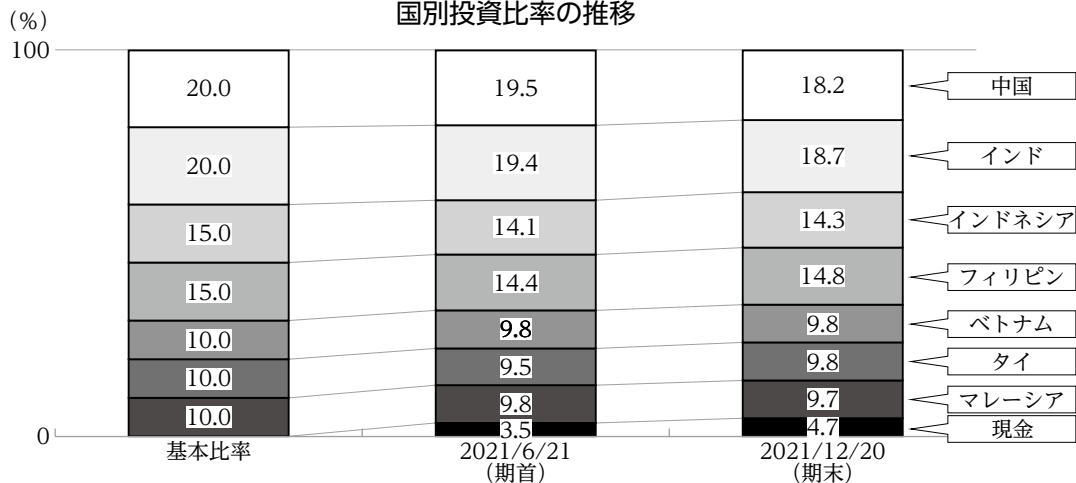
期初から2021年9月半ばにかけては、米国のインフレ率上昇は一時的との見方を受け、米国長期金利が1.2~1.3%で推移する中、米ドルは1米ドル110円を挟んだ小動きが続きました。その後、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレ抑制のためテーパリング（量的緩和の縮小）を決定したことなどを受けて米ドルは円に対し上昇し、11月後半には一時115円台を付けました。そうした中、アジア通貨は対円で概ね上昇しました。

投資先ファンド

高い経済成長が続くアジア地域で、今後も特に高い成長が期待できると考えられる国々（中国、インド、インドネシア、フィリピン、マレーシア、タイ、ベトナム）の株式に投資を行いました。

当期は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進展する中、経済活動の再開後、中国に代わる製造拠点としての評価などを背景に株価が上昇したベトナムなどの保有がプラス要因となる一方、当局による規制強化や不動産開発大手の債務問題などから株価が大幅に下落した中国などの保有はマイナス要因となりました。

国別投資比率の推移



(注)国別投資比率は、各投資先ファンドの比率を用いています。比率は、純資産総額を100%として計算しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第29期	
	2021年6月22日 ～2021年12月20日	
当期分配金 (円)	—	
(対基準価額比率) (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,660	

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。当ファンドは国別の投資比率を概ね基本比率と同水準に維持し、各国の個別要因によって極端に割安・割高になったと判断する局面においては機動的に投資比率の変更を行っていく方針です。

投資先ファンド

新型コロナウイルスの感染状況については、アジア各国で状況が異なるものの、インドや東南アジアではワクチン接種が進んだ結果、新規感染者数が減少し、経済活動が正常化しつつあります。しかし、南アフリカで最初に確認された新たな変異株「オミクロン株」については、未だ不明な点も多いことから、今後の状況に注視が必要です。

アジア地域に関しては、各国で進められる構造改革などを背景に中長期的に高い経済成長を維持できるという見方は変わりありません。また株価収益率（PER）などのバリュエーションの観点からみて、米国や欧州などの主要市場と比べて割安な水準にあると判断されることはアジア株式市場の下支えとなると見られます。

今後も株式市場がマクロ経済や政治イベントなどの短期的なニュースに過剰に反応するような局面でも、長期的な視野をもってファンダメンタルズとバリュエーションを大局的に見極めるという姿勢が重要と考えています。

引き続きバリュエーションを重視したボトムアップアプローチの投資方針を維持し、長期的に持続可能な収益性と比較して、割安と判断できる企業を選別して投資を継続していく所存です。

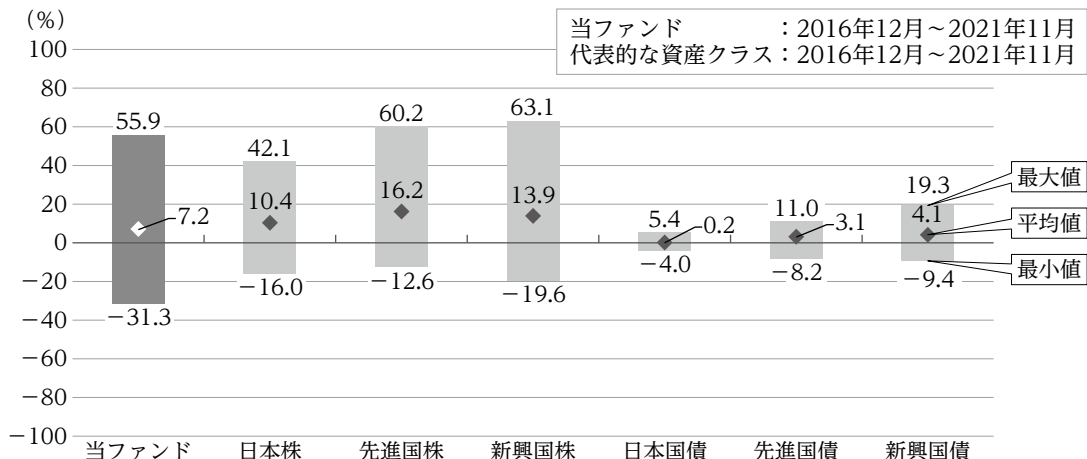
お知らせ

該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（2007年6月29日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア地域において相対的に高い経済成長が見込まれる国の株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	<p>主としてルクセンブルグ籍外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ」のサブファンド（米ドル建て）への投資を通じて、主要投資対象国の株式に投資を行います。ただし、一部の投資対象国については、市場の流動性等により、ETF（上場投資信託）への投資を通じて株式に投資を行うことがあります。</p> <p>イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラス J iシェアーズ MSCIマレーシアETF ヴァンエック・ベクトル・ベトナムETF</p> <p>投資信託証券は、今後変更される場合があります。 実際の投資にあたっては、すべての投資信託証券に投資するとは限りません。</p>
運用方法	<p>以下の投資制限のもと運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年6月20日および12月20日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

(参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※当ファンドと代表的な資産クラスについて、上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を表示し、定量的に比較できるように作成したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数 (TOPIX) の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円換算ベース)	MSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)	
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
先進国債	JPMorganGBIグローバル (除く日本、ヘッジなし・円ベース)	J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。
新興国債	JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

組入ファンド

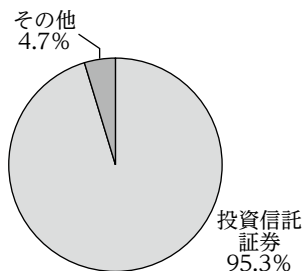
(組入銘柄数：7銘柄)

ファンド名	第29期末 2021年12月20日
イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラス J	18.7%
イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラス J	18.2%
イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラス J	14.8%
イーストスプリング・インベストメンツ - インドネシア・エクイティ・ファンド クラス J	14.3%
イーストスプリング・インベストメンツ - タイランド・エクイティ・ファンド クラス J	9.8%
イーストスプリング・インベストメンツ - ベトナム・エクイティ・ファンド クラス J	9.8%
イーストスプリング・インベストメンツ - マレーシア・エクイティ・ファンド クラス J	9.7%

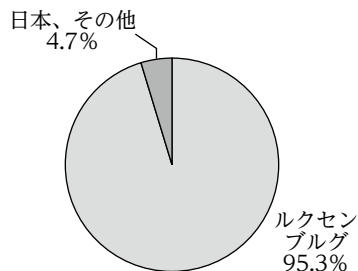
(注1)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2)上位3ファンドについては、「組入上位ファンドの概要」を後掲しています。

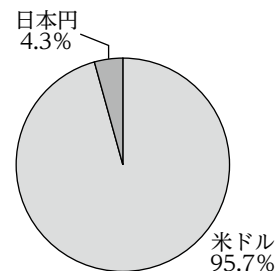
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注)比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目		第29期末 2021年12月20日
純資産総額	(円)	3,629,885,315
受益権総口数	(口)	3,307,808,132
1万口当たり基準価額	(円)	10,974

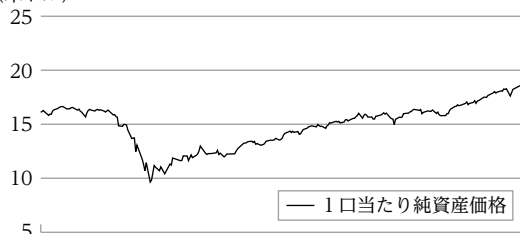
* 当期中において追加設定元本額は97,142,723円、一部解約元本額は325,681,715円です。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンド クラスJ>

基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



2019/12/31

2020/12/31

1万口当たりの費用明細

(2020年1月1日～2020年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

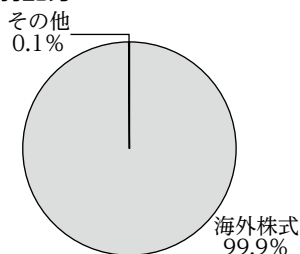
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - インディア・エクイティ・ファンドの内容です。

組入上位10銘柄(組入銘柄数：43銘柄)

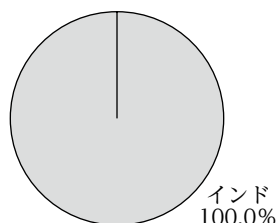
(2020年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Infosys Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	9.8%
ICICI Bank Ltd	銀行	インド	9.2%
Reliance Industries Ltd	エネルギー	インド	7.5%
Housing Development Finance Corp Ltd	銀行	インド	7.3%
Tata Consultancy Services Ltd	ソフトウェア・サービス	インド	5.6%
Larsen & Toubro Ltd	資本財	インド	3.8%
Bharti Airtel Ltd	電気通信サービス	インド	3.3%
Sun Pharmaceutical Industries Ltd	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	インド	3.0%
Axis Bank Ltd	銀行	インド	3.0%
Hindustan Unilever Ltd	家庭用品・パーソナル用品	インド	2.9%

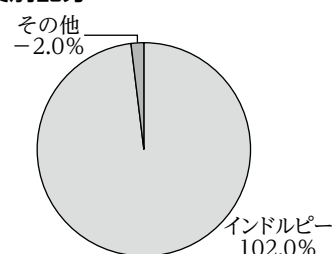
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

(注3) 資産別配分において、未払金等の発生により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

(注4) 通貨別配分において、基準日をまたぐ為替取引等の計上により「その他」の数値がマイナスになることがあります。

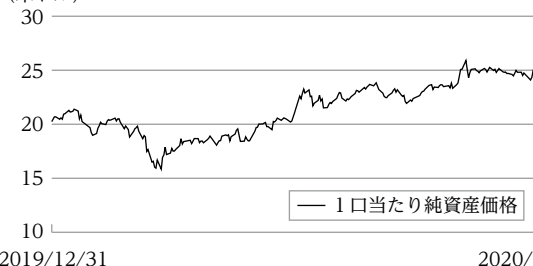
* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンド クラスJ>

基準価額(1口当たり純資産価格)の推移

(米ドル)



1万口当たりの費用明細

(2020年1月1日～2020年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

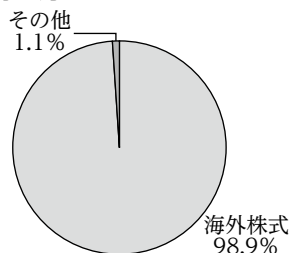
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - チャイナ・エクイティ・ファンドの内容です。

組入上位10銘柄(組入銘柄数：48銘柄)

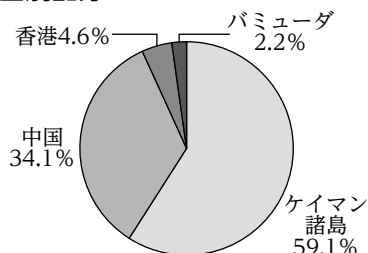
(2020年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
Tencent Holdings Ltd	メディア・娯楽	ケイマン諸島	9.4%
Alibaba Group Holding Ltd	小売	ケイマン諸島	6.7%
Ping An Insurance Group Co of China Ltd 'H'	保険	中国	5.1%
JD.com Inc	小売	ケイマン諸島	4.8%
Xiaomi Corp	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	ケイマン諸島	4.3%
JOYY Inc ADR	メディア・娯楽	ケイマン諸島	3.5%
New Oriental Education & Technology Group Inc ADR	消費者サービス	ケイマン諸島	3.4%
China Merchants Bank Co Ltd 'H'	銀行	中国	3.2%
Autohome Inc ADR	メディア・娯楽	ケイマン諸島	3.1%
Lepu Medical Technology Beijing Co Ltd 'A'	ヘルスケア機器・サービス	中国	2.7%

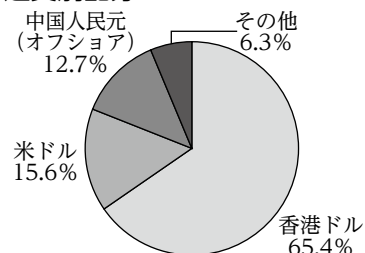
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。
 (注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

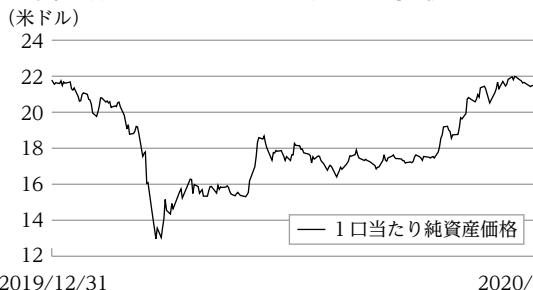
(注3) 組入上位10銘柄、国別配分の国・地域は発行者の登録国・地域に基づいており、当該株式が上場されている、あるいは発行者が業務の本拠を置く国・地域とは異なる場合があります。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

組入上位ファンドの概要

<イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンド クラスJ>

基準価額(1口当たり純資産価格)の推移



1万口当たりの費用明細

(2020年1月1日～2020年12月31日)

当該期間のAnnual Report (監査済み) には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

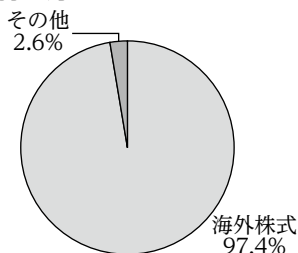
以下は、イーストスプリング・インベストメンツ - フィリピン・エクイティ・ファンドの内容です。

組入上位10銘柄(組入銘柄数：35銘柄)

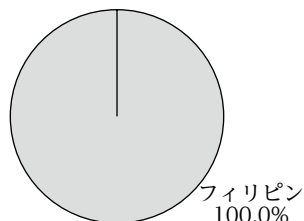
(2020年12月31日現在)

銘柄名	業種	国・地域	比率
SM Prime Holdings Inc	不動産	フィリピン	10.0%
SM Investments Corp	資本財	フィリピン	9.7%
Ayala Land Inc	不動産	フィリピン	8.6%
Ayala Corp	資本財	フィリピン	6.0%
JG Summit Holdings Inc	資本財	フィリピン	5.2%
Bank of the Philippine Islands	銀行	フィリピン	4.9%
BDO Unibank Inc	銀行	フィリピン	4.8%
Metropolitan Bank & Trust Co	銀行	フィリピン	4.4%
Universal Robina Corp	食品・飲料・タバコ	フィリピン	3.5%
Aboitiz Equity Ventures Inc	資本財	フィリピン	3.4%

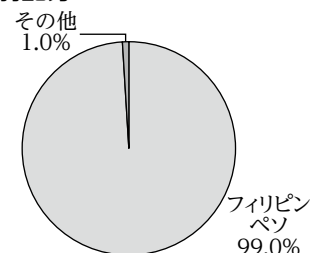
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの(監査済みおよび同時点の関連データを含む)を使用しています。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。